

2015年8月3日

報道機関各位

生物多様性のフォーラム開催のお知らせ

～「人と生きものつながり創生 全国フォーラム」を長野県木曽にて開催～

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区 社長：藤井 秀延）は、長野県や信州生物多様性ネットきずなとともに、生物多様性をテーマとした「人と生きものつながり創生 全国フォーラム」を9月19日に長野県木曽において開催しますので、お知らせいたします。

当日は、生物多様性に詳しい枝廣淳子氏による基調講演や、生物多様性の経済価値をテーマとするパネルディスカッションを行います。また、会場内において、市民団体・企業等の交流会などを開催します。

フォーラム翌日には、御嶽山などをはじめ豊かな自然環境を誇る木曽の自然の今を学ぶため、エクスカーション「木曽の生物多様性を見に行こう！」を併せて開催いたします。

1. 開催目的

本フォーラムは、地域における生物多様性の自立的な保全体制の構築に向けて、特に企業や市民の参画を促すことを目的として開催します。

信州の里地里山の豊かな生物多様性とその持続的な利用の取り組みを全国に向けて情報発信するとともに、既存の枠組みを超えた新たな連携体制を具体的に構築していく機会となることを期待しています。また、御嶽山噴火にみまわれた木曽地域でフォーラムを開催することにより、御嶽山周辺地域の復興支援につながることを期待しています。

2. 開催主体

主 催	長野県、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株、信州生物多様性ネットきずな
共 催	林野庁中部森林管理局、木曽町、(公財)日本自然保護協会、美しい森林づくり全国推進会議、信州豊かな環境づくり県民会議
後 援	環境省長野自然環境事務所(予定)、木曽広域連合、信州大学地域戦略センター、(株)伊藤園、(公社)国土緑化推進機構、SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク、生物多様性自治体ネットワーク、(一社)長野県環境保全協会、国際自然保護連合日本委員会、生物多様性協働フォーラム、長野県林政協議会、木曽町環境協議会、信濃毎日新聞、中日新聞社、朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局、読売新聞長野支局、産経新聞長野支局、長野日報社、市民タイムス、NHK長野放送局、SBC信越放送、abn長野朝日放送、テレビ信州、NBS長野放送、FM長野(順不同)

3. 開催概要

日 時	2015年9月19日(土) 10時00分～17時00分
会 場	木曽文化公園文化ホール
参 加 費	無 料 ※事前申込制、定員500名(先着順)、申し込み〆切9月18日(金)正午
午 前	10:00～12:00 環境保全に取り組む市民大集合（第2会議室） 映画「うみやまあひだ」上映会・トークショー（大ホール）
開会・セレモニー	13:00～13:30 あいさつ 中島 恵理 長野県副知事 団司 忠之 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)常務執行役員 原 久仁男 木曽町長 表彰式 保全活動優良団体・個人、「木曽悠久の森」写真コンテスト
基 調 講 演	13:30～14:00 枝廣淳子(環境ジャーナリスト、翻訳家) 「多様な主体の参加と連携による生物多様性の保全」
パネルディスカッション	15:10～16:00 「企業や市民にとっての生物多様性保全の経済価値」 【パネリスト】 枝廣淳子(環境ジャーナリスト、翻訳家) 中島 恵理(長野県副知事) 桂川裕樹(林野庁中部森林管理局長) 福江佑子(NPO法人あーすわーむ主任研究員) 平島安人(セイコーエプソン(株)エキスパート) 前田滋(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 【コーディネーター】 中村寛志(信州大学地域戦略センター特任教授)
交 流 イベント	14:10～15:00(第1部) 16:10～17:00(第2部) ・市民団体・企業等交流会:「参加者同士の情報交換で、みんなつながろう！」 ・NACS-J市民カレッジ(日本自然保護協会):「生物多様性世界の最新動向を学ぼう」ほか ※本カレッジは、生物多様性の主流化を目指す「市民のための生物多様性出前講座」プロジェクトとして、トヨタ自動車(株)のトヨタ環境活動助成プログラムの助成を受けて実施しています。
常 設 展 示	展示①自然保護団体・企業等活動PRパネル展示 展示②「木曽悠久の森」写真コンテスト出展作品展 フォレストサポートーズ、企業の森づくりPR展示 信州・木曽の恵み特産品物産展

4. エクスカーション概要

【テーマ】木曽の生物多様性を見に行こう！

日 時	2015年9月20日(日) 9時00分～15時00分
参 加 費	無 料（事前申込、定員40名、先着順、申し込み〆切 9月18日(金) 12時）
プログラム	9:00～15:00 木曽の自然を学ぶ(おんたけ休暇村、室内学習)→[バス移動] → 御嶽山麓→ 開田高原 (昼食)→道の駅日義木曽駒高原(お買い物)→木曽文化公園到着・解散

※エクスカーションは御嶽山噴火災害からの地域復興支援を目的としており、宿泊セットの企画として参加者を募集します。

※フォーラム終了後に宿泊施設までバスで送迎します。宿泊代・昼食代は現地にてご負担ください。(費用は1万円弱)

5. お申し込み方法

以下のwebサイトのお申し込み専用ページよりお申し込みください。

お申し込み URL:<http://www.murc.jp/forum/BDC.html>

自社・団体の生物多様性に関する取り組みを紹介したパンフレット等を会場スペースで展示・配布することができます。ご希望の方は、参加申し込みの際に、該当欄に記載ください(先着順9月18日(金)まで)。

以 上

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

政策研究事業本部[大阪] 研究開発第2部

主任研究員 前田滋、副主任研究員 西田貴明

〒530-8213 大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA19F

TEL:06-7637-1480 E-mail:bio-kansai@murc.jp

同時配布先：環境問題研究会、環境記者会

※長野県(環境部)も本フォーラムに関するリリースを同時発表しています。